

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元の HP などをご確認ください。

徳山科学技術振興財団 2022 年度研究助成の公募

徳山科学技術振興財団では 2022 年度の研究助成およびスタートアップ助成の公募を行います。(1) 研究助成 (新材料およびこれに関連する技術分野で、新材料開発の基礎ならびに応用を指向する独創的研究。国内の大学等に常勤する 45 歳未満の研究者に対する助成) 助成額: 1 件 2,000 千円, 12 件程度。(2) スタートアップ助成 (新材料およびこれに関連する技術分野で、新材料開発の基礎ならびに応用を指向する独創的研究。国内の大学等に常勤する 45 歳未満の研究者のうち、学位取得後 10 年以内および現在のポジションに就いて 3 年以内の研究者に対する助成) 助成額: 1 件 1,000 千円, 10 件程度。募集期間: 2021 年 8 月 1 日(日)~9 月 22 日(水) 12 時必着。応募方法: 下記 HP に記載してありますのでご確認の上、ご応募下さい。連絡先: 745-8648 山口県周南市御影町 1-1 (公財) 徳山科学技術振興財団 電話 (0834) 34-2581 E-mail: zaidan@tokuyama.co.jp <https://www.tokuyama.co.jp/zaidan/>

徳山科学技術振興財団 2022 年度国際シンポジウム助成の公募

徳山科学技術振興財団では 2022 年度の国際シンポジウム助成の公募を行います。助成対象: 国内で開催される、新材料分野 (無機, 有機, 高分子, その他) およびこれに関連する

科学技術分野の国際シンポジウムで、当財団の助成事業目的にふさわしいもの。対象とする会議の規模としては約 100 人規模から数 100 人規模の会議。助成額: 1 件 10~30 万円。募集期間: 2021 年 8 月 1 日(日)~9 月 22 日(水) 12 時必着。応募方法: 下記 HP に記載してありますのでご確認の上、ご応募下さい。連絡先: 745-8648 山口県周南市御影町 1-1 (公財) 徳山科学技術振興財団 電話 (0834) 34-2581 E-mail: zaidan@tokuyama.co.jp <https://www.tokuyama.co.jp/zaidan/>

2021 年度「第 42 回猿橋賞」 受賞候補者の推薦

女性科学者に明るい未来をの会は、2021 年度猿橋賞の募集をしています。募集要項は、HP (<http://www.saruhashi.net/>) に掲載しています。対象: 推薦締切日に 50 歳未満で、創立の趣旨に沿って自然科学の分野で優れた研究業績を収めている女性科学者 (ただし、日本に在住・在職で、かつ今後も国内で若手の育成に貢献できる人)。表彰内容: 賞状、賞金 30 万円, 1 件 (1 名)。応募方法: 上記 HP からダウンロードした推薦書類に必要事項記載し、主な論文別刷 5 編の PDF ファイルを添付。締切: 2021 年 11 月 30 日(火) (必着) 送付先および問合せ先: E-mail: saruhashi2021@saruhashi.net

お茶の水女子大学賞 第 7 回黒田チカ賞募集

お茶の水女子大学ではこのたび 2021 年度第 7 回「黒田チカ賞」の募集を開始いたしました。詳細は HP (<https://www.ocha.ac.jp/danjo/op/ktp/ktp2021.html>) をご参照下さい。締切: 2021 年 9 月 10 日(金) 17 時 (必着)。連絡先: 国立大学法人お茶の水女子大学 企画戦略課 男女共同参画担当 E-mail: Ocha-Prize@cc.ocha.ac.jp

令和 3 年度「東レ理科教育賞」 および「東レ理科教育賞・企画賞」 募集のご案内

〔東レ理科教育賞〕対象: 中学・高校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた教育事例 (教育の現場で実績のあるもの)。褒賞: 東レ理科教育賞文部科学大臣賞 (賞状, 銀メダル, 副賞賞金 100 万円; 東レ理科教育賞の中で特に優れているもの)。東レ理科教育賞 (賞状, 銀メダル, 副賞賞金 70 万円)。東レ理科教育賞佳作 (賞状, 副賞賞金 20 万円; 東レ理科教育賞に次ぐもの)。東レ理科教育賞奨励作 (賞状, 副賞賞金 20 万円; 東レ理科教育賞および佳作とは別に理科教育上広く普及を奨励するもの) を合わせて 10 件程度選定。応募締切日: 令和 3 年 9 月 30 日(木) 必着。〔東レ理科教育賞・企画賞〕対象: 中学・高校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた企画・開発。褒賞: 賞状, 副賞賞金 10~20 万円 (10 件程度選定)。応募締切日: 令和 3 年 8 月 31 日(火) 必着。〔両賞共通〕応募資格: 中学・高校の理科教育を担当、指導、または研究する方。応募手続: 所定の応募用紙 (申請書) に必要事項を記入し、当会宛 1 部郵送。下記 HP または令和 2 年度受賞作品集とともに全国の中学, 高校, 高専などに送付の応募要領参照。問合せ・応募用紙の入手・申込み先: 103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-3-16 公益財団法人東レ科学振興会 電話 (03) 6262-1656 FAX (03) 6262-1901 <https://www.toray-sf.or.jp/awards/education/>

令和 4 年度リンダウ・ノーベル賞 受賞者会議派遣事業新規公募の ご案内

リンダウ・ノーベル賞受賞者会議とは、ドイツ南部のリンダウ市において、ノーベル賞受賞者が世界各地から集った博士課程学生および若手研究者に対して講演やディスカッション等を行う国際会議です。対象分野: 化学関連分野。日程: 令和 4 年 (2022 年) 6 月 26 日(日)~7 月 1 日(金)。申請締切: 令和 3 年 (2021 年) 8 月 6 日(金) 17 時 (日本時間)。*ただし、所属機関内の締切に注意。申請方法: 申請者の所属機関を通じた電子申請システムによる申請 (所属機関が日本国内の場合)。募集要項: HP (https://www.jsps.go.jp/j-lindau/shinsei_boshu.html) 問合せ先: 独立行政法人日本学術振興会国際事業部研究協力第一課「リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業」担当 電話 (03) 3263-0986 E-mail: lindau@jsps.go.jp

第 13 回 HOPE ミーティング 新規公募のご案内

HOPE ミーティングは、アジア・太平洋・アフリカ地域の博士課程学生および若手研究者が、ノーベル賞受賞者をはじめとする著名研究者や同年代の研究者と交流する合宿形式の会議です。新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を考慮し、今回初めて全プログラムをオンラインで開催します。日程: 令和 4 年 (2022 年) 3 月 7 日(月)~3 月 11 日(金) 開催方式: 全プログラム ウェブ会議システムによる会議 (オンライン開催)。申請締切: 令和 3 年 (2021 年) 年 8 月 20 日(金) 17 時 申請方法: 申請者本人が、HOPE ミーティング専用電子申請システムより申請。募集要項: HP (<https://www.jsps.go.jp/hope/boshu.html>) 問合せ先: 独立行政法人日本学術振興会国際事業部研究協力第一課「HOPE ミーティング」担当 電話 (03) 3263-2414 E-mail: hope-meetings@jsps.go.jp

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限ります。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 掲載は1回に限ります。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できませんので、それらは本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい（英文は和文の0.55字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。
<http://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry>より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 掲載月以降に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

④専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；アｶﾀ, 記号（約物）；。〔（/ 等
- ・ローマ数字；I II III IV, 丸数字；①②③④

【使用可能な文字例】

- ・全角カナ, 全角記号, アルファベットのI, V, X, Yを組み合わせてローマ数字を表現。
- ・文字の代わりに(1)(2)の表記を使用。

- ・組文字は全角（株）（有）mmでの表記にする。

- C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し、受理メール（受付番号付）に●印の指示を行いに送って下さい。その際、投稿フォーマットの“連絡事項”に必ずその旨を表記して下さい。
- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P ^{2 +}$

・下付； $CO_2 \rightarrow CO ₂$

・イタリック；*italic* $\rightarrow <I> italic </I>$

- ③ 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。
- ④ 電子投稿が完了しましたら、自動的に受理通知メールを発信人宛に返信します。受理メールにて、受付番号、掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は、正常に原稿が受理されていない場合がありますので、必ず受理通知をご確認下さい。
- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 当月25日まで；URLフォーマットの“連絡事項”欄に先に受け取った原稿受理通知番号、先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ② 26日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合先

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局 電話(03)3292-6165

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話(03)5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp